

平成29年度 指定管理者導入施設評価表

施設名称	二睦学習センター		所管課(TEL)	人権同和政策課 (026-245-0909)
所在地	須坂市大字井上 2206 番地 6		設置年月	昭和 53 年
施設設置目的	交流から人権課題を解決するという目的達成に努め、地域住民と周辺住民の学習に係るサービス事業を実施する			
施設概要・設備	建物の構造 木造 2 階建鉄板葺 敷地面積 244.62 m <sup>2</sup> 延床面積 178.17 m <sup>2</sup> 施設の内容 学習室、会議室、生活改善室、便所等			
指定管理者名 (選定方式)	部落解放同盟須坂市協議会 (公募)			
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日			
指定管理者の主な業務	施設の管理及び運営に関すること 施設の利用に関すること 自主事業に関すること			
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対前年比 (%)
	利用者数	350	335	78.3
	(特記事項)			
指定管理者の 予算及び決算	項 目	予算額 (円)	決算額 (円)	
	指定管理料	216,000	216,000	
	利用料収入	0	0	
	支出額合計	216,000	197,388	
	(特記事項)			

2 市（担当課）による評価（評価は非常に良い◎、良い○、やや悪い△、悪い×の4段階です。）

協定書及び指定管理者の事業計画書の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価したものです。評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

項目	指 標	評価	評価に対する説明
管理状況	開館時間、休館日の運用	○	協定どおり運用されている。
	法令の遵守	◎	関係法令を遵守している。
	適正な人員配置	◎	適切に配置されている。
	職員の労働環境確保	○	ほぼ適切に確保されている。
	職員の研修・教育	○	適切である。
	文書・帳簿の管理保存	◎	適切におこなわれている。
	報告書等の提出	○	ほぼ適切におこなわれている。
	口座管理・経理	○	適切におこなわれている。
	施設の使用許可・条件	◎	適切におこなわれている。
	備品の管理	◎	適切におこなわれている。
	清掃業務	◎	適切におこなわれている。
	環境への配慮	◎	節電など努力されている。
危機管理対策	緊急事態の対応	○	マニュアル化されたものはあるが、訓練の実績がないので訓練をしてほしい。
	安全への配慮	◎	適切におこなわれている。
	個人情報の保護	◎	適切におこなわれている。
	施設設備の保守管理	◎	消防設備点検を実施しており、適切におこなわれている。
	重要事項の報告・連絡・届出	◎	災害による被害や施設の修理については、連絡をいただいているため適切におこなわれている。
	保険の加入	—	
	管理物件に対する損害賠償等	—	
運営状況	施設利用状況	○	前年比で利用者が減少しているの、自主事業等利用者の増加を図られたい。
	自主事業実施状況	◎	なんでもやってみよう会や講習会などの活動ができています。
	地域との連携	○	区民との交流をより多く進めてほしい。
	その他取組み	—	
	管理に係る収支状況	○	適切におこなわれている。
	自主事業に係る収支状況	○	適切におこなわれている。
	サービス向上への取組み	○	アンケート結果を参考にサービス向上に努めていただきたい。
	PR等広報活動	○	今後も市民へ広報を積極的に進めてほしい。
	苦情・要望への対応	◎	アンケート結果を参考に施設の運営をお願いしたい。

### 3 利用者による評価

指定管理者が行なった利用者アンケートの結果及び、担当課に寄せられた利用者からの意見・要望等によるものです。

利用者アンケートの結果	実施時期	4月1日から3月31日
	調査対象	施設利用者
	調査方法	窓口に置いているアンケート用紙に記入してもらっている。
	調査結果	<p>回答者13人（男3人、女10人）</p> <p>年齢50代1人、60代8人、70代以上4人</p> <p>管理状況：極めて保たれている 77%</p> <p>：普通に維持されている 23%</p> <p>使用した感想：また利用したい 100%</p>
利用者からの意見・要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また参加します。（料理講習会）</li> <li>・楽しくできました、ありがとうございました。（料理講習会）</li> <li>・使いやすく整理整頓されている。（料理講習会）</li> </ul>	

### 4 指定管理者による自己評価

指定管理者自身による自己評価です。

平成29年度の自己評価	<p>センターの管理については、経費削減に充分配慮し、節電・節水に努めた。</p> <p>多くの区民はじめ市民に利用していただくため、健康体操と料理講習会を兼ねた「何でもやってみよう会」を18回、マレットゴルフを楽しみながら健康管理と交流を目的とした「ひまわりマレットクラブ」を6回実施し、近隣住民との交流を図ってきましたが、施設の利用者は昨年より減少しているため、利用していただくよう地域等への働きかけを継続してまいりたい。</p> <p>また、対象地区住民の自覚を高めるために、人権講座を3回開催し、地区を誇ること、先人を誇れるよう意識改革を図りました。</p> <p>部落問題、人権問題を自己の問題として捉え、解決に向けた行動がとれるよう、人権問題の拠点となるセンターにしてまいりたい。</p>
-------------	--

### 5 市（所管課）による総合評価

<p>施設の管理運営はおおむね適切に行っていた。交流の場として「なんでもやってみよう会」を開催し、対象地域と周辺住民と交流が図られるよう地域での広報もしているが、昨年より利用者数が減少しているため、今後も魅力ある地域人権交流事業等の企画を行い、多くの住民等が参加してもらえるよう努力していただきたい。</p>
--